

2024_1018「東京の彗星（写真）」日々の理科 3725号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

東京23区は公害ならぬ「光害」があまりにも激しく、もともと天体観望や撮影には適した場所ではありません。肉眼でははっきり見えるのは3等星がせいぜいで、北斗七星、夏の大三角、オリオン座といった、はっきりした恒星の並び以外は、星座の観察も難しいです。増してや、彗星のような淡い光芒の太陽系天体は、目標になる恒星もほとんど見えない中、その位置すら特定することは困難なのです。

しかし、肉眼ではほぼ見えなくても、写真には写る場合があります。私は1997年春に出現して大ブームになった「ヘール・ボップ彗星」を、東京都内でもよく撮影しました。この写真はお茶の水女子大学構内から池袋方面を狙ったものです。当時デジタルカメラは普及しておらず、リバーサルフィルムで撮影しました。都内で撮った写真は稀だったので、この写真は「月刊天文」という雑誌に入選しています。ヘール・ボップ彗星は格ちがいに明るかったので、東京都内でも肉眼ではっきり見えました。

今回の「紫金山・アトラス彗星」も都内での撮影が報告されています。同じお茶の水女子大学構内で、草野 健先生が撮った写真です。非常に淡い光芒ですが、確かに彗星が写っています。「都会地では撮影は無理だろう」・・・とあきらめるのではなく、こうして「身近な場所でも彗星が見えた」という記録を残しておこうという気持ちが素晴らしいと思います。

【撮影データ】

左；ヘール・ボップ彗星／1997年4月／お茶の水女子大学構内／当方撮影／ニコン F2+プロビア 400 使用

右；紫金山・アトラス彗星／2024年10月15日／お茶の水女子大学構内／草野 健先生撮影

